

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

Information

参加者・演題募集中

在宅ケア 第23回日本在宅ケア学会 学術集会

7月14～15日／大阪府

参加者募集

日時：7月14日(土)～15日(日)
会場：大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)

テーマ：超高齢社会における在宅ケアの課題と展望

プログラム：(1日目)学術集会長講演「在宅ケア向上の鍵となる地域ケア会議の今後の課題と方向性」岡田進一(大阪市立大学大学院生活科学研究所)／教育講演1「在宅看護の現状と課題」在宅看護は学問として体系化できるか？河野あゆみ(大阪市立大学大学院看護学研究科)／教育講演2「ソーシャルサポートネットワークの現状と今後の方向性」増田和高(武庫川女子大学心理・社会福祉学科)／ランチョンセミナー1「認知症情報最前線」本間昭(お多福もの忘れクリニック)／特別講演「在宅ケアにおけるスーパージョブ」野村豊子(日本福祉大学大学院社会福祉学研究所)／教育講演3「調査法の基礎」質問紙作成の方法(信頼性と妥当性)畑亮輔(北星学園大学社会福祉学部)／教育講演4「在宅における終末期ケアのあり方」長江弘子(東京女子医科大学看護学部)／ワークショップ1「新卒訪問看護師育成に望ましい訪問看護ステーションの教育体制と教育風

土 河野あゆみ(大阪市立大学大学院看護学研究科)・吉行紀子(大阪市立大学大学院看護学研究科)・小林愛(神戸女子大学看護学部)・丸尾智美(甲南女子大学看護リハビリテーション学部)・岡田理沙(ケアプロ株式会社)・金坂手将(同)・川添高志(同)／ワークショップ2「生活と医療を統合する継続看護マネジメント2(仮)」長江弘子(東京女子医科大学)ほか／市民公開講座「地域における認知症ケアと家族支援」医師として、介護者として感じることに松本一生(松本診療所)

(2日目)シンポジウム1「地域における多職種連携のあり方と今後の課題」黒田研二(関西大学人間健康学部)・北川公子(共立女子大学看護学部)・畑智恵美(四天王寺大学人文社会学部)／教育講演5「認知症初期集中支援推進事業の現状と課題」小西かおる(大阪大学大学院医学系研究科)・中西亜紀(大阪市立済生会附属病院)・大阪市福祉局高齢者施策部)／ランチョンセミナー2「若年認知症者に対する地域ケア」藤本直規(医療法人藤本クリニック)／シンポジウム2「地域包括ケアにおけるケアマネジメントの位置づけと今後の課題」福富昌城(花園大学社会福祉学部)・白木裕子(株式会社フジケア)・諏訪さゆり(千葉大学大学院看護学研究科)／教育講演6「地域でのコンフリクト解決の理論と方法」野村恭代(大阪市立

大学大学院生活科学研究所)／委員会企画1：学会活動推進委員会「在宅における『食べること』のケア・支援」リレー講座4「在宅療養者における摂食嚥下・栄養障害の現状」榎裕美(愛知淑徳大学健康医療科学部健康栄養学科)／委員会企画2：政策提言委員会「平成30年度同時改定を受けて目指すべきこと」福井小紀子(大阪大学大学院医学系研究科)

当日参加費：(1日参加(抄録集なし)：会員・大学院生無料、非会員6000円)
(2日参加(抄録集1冊含む)：会員1万円、非会員1万2000円、大学院生(抄録集なし)4000円)

■第23回学術集会運営事務局
〒162-0825
東京都新宿区神楽坂4-1-1
オザワビル2F
株式会社ワールドプランニング
03-52206-7431
03-52206-7757
fax 03-52206-7757

■info@world.jp
※10:00～12:00/13:00～17:00
(土日・祝日除く)

在宅医療・介護

2018年度

東京医療保健大学大学院 公開講座

7月21日／東京都

参加者募集

テーマ：これからの在宅医療・介護——地域の元氣をつくる

日時：7月21日(土) 12:30～16:45(受付12:00～)
会場：東京大学弥生講堂・一条ホール(東京都文京区)
プログラム(予定)：教育講演1「生涯を通じて住民に伴走する地域看護を目指して」ビュートゾルフ柏の実践 吉江悟(Negotiation Café代表理事)／2「地域高齢者の体力測定を通じた介護予防と健康支援の取り組み」今泉一哉(東京医療保健大学教授)／研究発表1「外来がん化学療法の実状と副作用としての味覚障害の研究」中濱孝志(東京医療保健大学大学院修士課程修了生)・大木直子(同)／2「在宅での看取りのための地域連携」病院から訪問看護ステーションへ出向いて行なう事例検討会 大金ひろみ(東京医療保健大学准教授)／3「在宅における感染制御の実情」西川美由紀(東京医療保健大学大学院博士課程1年)／4「産後ケア研究センター開設にあたって」島田祥子(東京医療保健大学講師)／特別講演「Aで介護革命？ 人工知能とケアマネジャーによるハイブリッド型ケアマネジメントの発明」岡本茂雄(シーディーアイ(ケアデザイン研究所)CEO)

参加費：1000円
申込方法：大学ホームページより参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入してEmailまたはFAXにて大学院事務室まで送信。Emailの件名は「大学院公開

講座 参加申込み」とし、参加申込書はファイル添付する。
 東京医療保健大学医療保健学研究科大学院事務室
 ☎03-5421-7685
 FAX 03-5421-3133
 info-master@hcu.ac.jp
 http://www.hcu.ac.jp

リハビリテーション
第48回日本リハビリテーション工学協会
車いすS-I-G講習会
in厚木
 9月1・2日／神奈川県
 日時：9月1日(土)・2日(日)
 ※1日間×2コース
 会場：アミューあつぎ(神奈川県厚木市)
 内容：1日目「姿勢と移乗」
 2日目「姿勢と移動」
 定員：各日30名(定員になり次第締切)
 参加費：日本リハビリ工学協会、日本車椅子シーティング協会加盟企業の方、車いすS-I-G賛助会員(A・B)企業の方、車いす利用者およびその家族(常時(終日)専門介助者)、学生(社会人学生は除く)の車いすS-I-G会員4000円、非会員5000円/車いすS-I-G講習会協賛団体企業の方および加盟者、第33回リハビリ工学カンファレンス(<http://www.resa.or.jp/app-def/S-102/conf-31/>)、協賛・後援団体加盟

者の車いすS-I-G会員5000円、非会員6000円/上記以外車いすS-I-G会員・非会員8000円
 申込方法：講習会情報詳細を6月中旬頃、ホームページに掲載後、受付開始予定。ホームページより申込書をプリントアウトし、FAXにて申込
 車いすS-I-G講習会事務局 担当：深野栄子
 〒235-0033
 神奈川県横浜市磯子区杉田2-7-20
 ☎045-352-8165
 FAX 045-352-8166
 http://www.wheelchair-sig.jp

ナラティブケア
北海道医療大学
看護福祉学部学会
第15回学術大会
 9月8日／北海道
 日時：9月8日(土) 午前10:00～16:30(受付：9:30～アスティ45 16階)
 会場：北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU(札幌市中央区)
 メインテーマ：その人の暮らしを織りなすナラティブエッセンス
 プログラム：講演(北海道医療大学看護福祉学部同窓会セミナー共催)「保健医療福祉におけるナラティブエッセンス―『共同著作』の視点から」金城隆展(琉球大学

医学部附属病院地域医療部/臨床倫理士/倫理コンサルタント)／シンポジウム「その人の物語から暮らしを織りなすケアを考える」大崎栄子(北海道であいの会代表/療養者)・真鍋智美(全国訪問ボランティアアナースの会)・札幌代表/看護師・佐藤美由紀(NPO法人Caeはっかいどう理事/相談員)・下倉賢士(在宅緩和ケア診療所ホームケアクリニック札幌/ソーシャルワーカー)・金城隆展/研究発表/情報交換会
 参加費：(事前申込)会員2000円、非会員2500円/(当日申込)一律3000円(午前の部のみ・無料)、情報交換会3500円(要事前申込)
 申込締切：8月24日(金)
 ※学術大会、情報交換会とも、振込確認後、事前申込完了
 北海道医療大学看護福祉学部学会 第15回学術大会実行委員会
 nsgakujyutu@ml.hoku-iryo-u.ac.jp(学会事務局)
 http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakai/

看護管理
大分県立看護科学大学
創立20周年記念
第20回
看護国際フォーラム
 9月15日／大分
 日時：9月15日(土) 13時30分～16時30分
 会場：別府ビーコンプラザ国際会議室(大分県別府市)
 プログラム：「社会に新風を吹きこむ看護のリーダーシップ」大分県立看護科学大学の活動から「村嶋幸代(大分県立看護科学大学理事長、学長)／脳卒中後の感情障害：根拠に基づいた看護研究」スミ・チョイ・クオン(ソウル国立大学看護学成人看護学専攻教授・学部長)／「看護におけるリーダーシップの進路：効果的なメンタリング関係を通じた臨床学の発展」ジェイムセッタ・A・ニューランド(ニューヨーク大学看護学臨床教授、同大学ヘルスケアクリニクナースプラクティション)／総合討論 藤内美保(大分県立看護科学大学看護学アセスメント学研究室教授、学部長)、竹中夢子(大分県看護協会会長)
 参加費：一般2000円、学生500円(資料代等)
 ※同時通訳用レシーバ使用の場合、別途1000円。当日、受付で支払う。おつりのないように。
 定員：350名
 申込方法：大分県立看護科学大学ホームページ(<http://www.oita-nhs.ac.jp/>)の参加登録フォームより。必要事項を入力の上、申込。
 申込締切：8月17日(金)
 ※定員に達し次第締切
 大分県立看護科学大学看護国際フォーラム事務局

〒870-1201
 大分県宇佐郡杵野2944-9
 forun2018@oita-nhs.ac.jp

訪問看護認定看護師
愛知県看護協会訪問看護
認定看護師教育課程
2019年度
受講生募集
 10月31日締切/愛知
 出願期間：10月22日(月)～31日(水)
 試験日：11月18日(日)
 教育期間：2019年5月～2020年3月
 ※講義：金・土(5～11月)
 演習：木・金・土(12～1月中旬)
 11・1月は金・土 実習：月・金(1月中旬～2月中旬)
 ※仕事を継続しながら受講が可能
 定員：20名
 入学説明会：8月4日(土)
 愛知県看護協会教育研修課
 ☎052-871-0761
 http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/

訪問看護
日本訪問看護財団
研修
 7～9月/全国
 日時：7月1日(日)
 受講者募集

■看護・介護一体型サービスおよび児童発達支援事業等の報酬改定セミナー——訪問看護との連携

会場：CIVIER研修センター日本橋（東京都中央区）

ねらい：平成30年度報酬改定を理解し、事業運営に役立てる

内容：定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護、療養通所介護、児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護の報酬改定内容／実践発表および意見交換など

講師：堀川尚子（日本看護協会医療政治部在宅看護課）／当新拓也（厚生労働省社会援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室企画調整係長）／安藤真知子（財団参与）

対象：看護小規模多機能型居宅介護、療養通所介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護に従事する看護師など

受講料：一律8000円

■プレゼンテーションカフェアップセミナー——在宅医療・介護連携のすすめ

日時：7月28日（土）

会場：浅草橋ヒューリックカンファレンス（東京都台東区）

ねらい：地域包括ケアシステムにおいて、在宅医療・介護の連携に必要なプレゼンテーション力の向上を図るとともに相談援助技術を学ぶ

内容：医療・介護連携推進事業の動向と実際／事例発表・多職種連携会議におけるプレゼンテーションのポイント／相談援助のポイント

講師：小西かおる（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授）／平原優美（財団事務局次長／財団あすか山訪問看護ステーション統括所長・在宅看護専門看護師訪問看護認定看護師）

対象：訪問看護従事者、介護支援専門員、相談支援専門員、訪問介護員など

受講料：一律8000円

■精神障がい者の在宅看護セミナー（3日間研修）

※精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修

（松山）

日時：8月31日（金）～9月2日（日）

会場：松山市男女共同参画推進センターコムス、愛媛県医師会館4F（愛媛県松山市）

ねらい：地域で暮らす精神障がい者と信頼関係を築き、医療の継続支援や病状悪化の早期対応などを含め、精神科訪問看護の知識・技術を習得する

内容：精神保健福祉の現状と動向／精神科訪問看護の動向と報酬・制度活用／精神障がい者を介護する家族支援について／精神障がい者および家族を地域で支えるための社会資源と制度の活用／精神疾患と治療について／精神科訪問看護の基礎／日常生活の援助／精神障がい者および介護者家族への医療継続支援について／精神障がい者および介護者家族への対人関係

の援助／精神科訪問看護の実践

講師：柿澤満絵（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課地域行政支援専門）／菅間真美（聖路加国際大学大学院精神看護学教授）／谷向知（愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学講座老年精神地域包括ケア学教授）／林紀江（訪問看護ステーションみさわ所長）／鈴木孝典（高知県立大学社会福祉学部准教授）／富川順子（大阪府立大学大学院看護学研究科准教授、精神看護専門看護師）／佐藤美穂子（財団常務理事）

対象：保健師、看護師、准看護師、作業療法士

受講料：会員2万円、非会員4万円

※3日間全講義受講者には修了証を発行

■小児訪問看護の実践力向上のための研修2018（3日間研修）

日時：9月7日（金）～9日（日）

会場：ラマダホテル新潟（新潟市中央区）

ねらい：小児入院患者の在宅移行の促進と、地域での生活を支援するために、小児およびその家族の支援に必要な知識・技術を習得し、保健・医療・福祉・教育などの社会資源が活用できる

内容：障害保健福祉施策の動向と制度活用／小児と家族への退院支援／小児の発達・成長・各ライフステージに応じた小児と家族支援／小児訪問看護の実践／小児在宅医療の現状／小児の呼吸管理／小児のフィジカルアセスメント／小児在宅医療の人工呼吸器について・演習／小児救命処置・演習（シミュレータ使用）／気管カニューレ管理・経鼻栄養管理・吸引などの演習（シミュレータ使用）／修了者報告会

講師：大西延英（元厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室室長補佐）／石渡久子（子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田、医師）／豊田ゆかり（愛媛県立医療技術大学保健科学部看護科母性・小児看護学講座教授）／岡田たみえ（東京都立大塚病院GCU病棟看護師長）／内田貴之（杏林大学医学部付属病院医療安全推進室専任リスクマネージャー、小児救急看護認定看護師）／松井晃（母子愛育会総合母子保健センター愛育病院臨床工学科臨床工学士長）／田中道子（財団立あすか山訪問看護ステーション所長、訪問看護認定看護師、在宅看護専門看護師）／田中由美（同訪問看護師）／新村恵子（同訪問看護師）

対象：小児訪問看護に従事する看護師（医療技術の演習を含む研修のため、小児訪問看護に従事する保健師、助産師、看護師、准看護師）

受講料：一律2万円

■集中セミナー

日時：11月10日（土）

会場：ベルサール新宿グランド（東京都新宿区）①ホール、②③コン

ト／演習

講師：小西かおる（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授）／平原優美（財団事務局次長／財団あすか山訪問看護ステーション統括所長・在宅看護専門看護師訪問看護認定看護師）

対象：訪問看護従事者、介護支援専門員、相談支援専門員、訪問介護員など

受講料：一律8000円

■精神障がい者の在宅看護セミナー（3日間研修）

※精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修

（松山）

日時：8月31日（金）～9月2日（日）

会場：松山市男女共同参画推進センターコムス、愛媛県医師会館4F（愛媛県松山市）

ねらい：地域で暮らす精神障がい者と信頼関係を築き、医療の継続支援や病状悪化の早期対応などを含め、精神科訪問看護の知識・技術を習得する

内容：精神保健福祉の現状と動向／精神科訪問看護の動向と報酬・制度活用／精神障がい者を介護する家族支援について／精神障がい者および家族を地域で支えるための社会資源と制度の活用／精神疾患と治療について／精神科訪問看護の基礎／日常生活の援助／精神障がい者および介護者家族への医療継続支援について／精神障がい者および介護者家族への対人関係

の援助／精神科訪問看護の実践

講師：柿澤満絵（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課地域行政支援専門）／菅間真美（聖路加国際大学大学院精神看護学教授）／谷向知（愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学講座老年精神地域包括ケア学教授）／林紀江（訪問看護ステーションみさわ所長）／鈴木孝典（高知県立大学社会福祉学部准教授）／富川順子（大阪府立大学大学院看護学研究科准教授、精神看護専門看護師）／佐藤美穂子（財団常務理事）

対象：保健師、看護師、准看護師、作業療法士

受講料：会員2万円、非会員4万円

※3日間全講義受講者には修了証を発行

■小児訪問看護の実践力向上のための研修2018（3日間研修）

日時：9月7日（金）～9日（日）

会場：ラマダホテル新潟（新潟市中央区）

ねらい：小児入院患者の在宅移行の促進と、地域での生活を支援するために、小児およびその家族の支援に必要な知識・技術を習得し、保健・医療・福祉・教育などの社会資源が活用できる

内容：障害保健福祉施策の動向と制度活用／小児と家族への退院支援／小児の発達・成長・各ライフステージに応じた小児と家族支援／小児訪問看護の実践／小児在宅医療の現状／小児の呼吸管理／小児のフィジカルアセスメント／小児在宅医療の人工呼吸器について・演習／小児救命処置・演習（シミュレータ使用）／気管カニューレ管理・経鼻栄養管理・吸引などの演習（シミュレータ使用）／修了者報告会

講師：大西延英（元厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室室長補佐）／石渡久子（子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田、医師）／豊田ゆかり（愛媛県立医療技術大学保健科学部看護科母性・小児看護学講座教授）／岡田たみえ（東京都立大塚病院GCU病棟看護師長）／内田貴之（杏林大学医学部付属病院医療安全推進室専任リスクマネージャー、小児救急看護認定看護師）／松井晃（母子愛育会総合母子保健センター愛育病院臨床工学科臨床工学士長）／田中道子（財団立あすか山訪問看護ステーション所長、訪問看護認定看護師、在宅看護専門看護師）／田中由美（同訪問看護師）／新村恵子（同訪問看護師）

対象：小児訪問看護に従事する看護師（医療技術の演習を含む研修のため、小児訪問看護に従事する保健師、助産師、看護師、准看護師）

受講料：一律2万円

■集中セミナー

日時：11月10日（土）

会場：ベルサール新宿グランド（東京都新宿区）①ホール、②③コン

医療の現状／小児の呼吸管理／小児のフィジカルアセスメント／小児在宅医療の人工呼吸器について・演習／小児救命処置・演習（シミュレータ使用）／気管カニューレ管理・経鼻栄養管理・吸引などの演習（シミュレータ使用）／修了者報告会

講師：大西延英（元厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室室長補佐）／石渡久子（子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田、医師）／豊田ゆかり（愛媛県立医療技術大学保健科学部看護科母性・小児看護学講座教授）／岡田たみえ（東京都立大塚病院GCU病棟看護師長）／内田貴之（杏林大学医学部付属病院医療安全推進室専任リスクマネージャー、小児救急看護認定看護師）／松井晃（母子愛育会総合母子保健センター愛育病院臨床工学科臨床工学士長）／田中道子（財団立あすか山訪問看護ステーション所長、訪問看護認定看護師、在宅看護専門看護師）／田中由美（同訪問看護師）／新村恵子（同訪問看護師）

対象：小児訪問看護に従事する看護師（医療技術の演習を含む研修のため、小児訪問看護に従事する保健師、助産師、看護師、准看護師）

受講料：一律2万円

■集中セミナー

日時：11月10日（土）

会場：ベルサール新宿グランド（東京都新宿区）①ホール、②③コン

医療の現状／小児の呼吸管理／小児のフィジカルアセスメント／小児在宅医療の人工呼吸器について・演習／小児救命処置・演習（シミュレータ使用）／気管カニューレ管理・経鼻栄養管理・吸引などの演習（シミュレータ使用）／修了者報告会

講師：大西延英（元厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室室長補佐）／石渡久子（子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田、医師）／豊田ゆかり（愛媛県立医療技術大学保健科学部看護科母性・小児看護学講座教授）／岡田たみえ（東京都立大塚病院GCU病棟看護師長）／内田貴之（杏林大学医学部付属病院医療安全推進室専任リスクマネージャー、小児救急看護認定看護師）／松井晃（母子愛育会総合母子保健センター愛育病院臨床工学科臨床工学士長）／田中道子（財団立あすか山訪問看護ステーション所長、訪問看護認定看護師、在宅看護専門看護師）／田中由美（同訪問看護師）／新村恵子（同訪問看護師）

対象：小児訪問看護に従事する看護師（医療技術の演習を含む研修のため、小児訪問看護に従事する保健師、助産師、看護師、准看護師）

受講料：一律2万円

■集中セミナー

日時：11月10日（土）

会場：ベルサール新宿グランド（東京都新宿区）①ホール、②③コン

フレアレンスセンタープログラム：①②③同時開催。いずれか1つを選択

①「在宅療養支援のための臨床推論（認定看護師のフォローアップセミナー）」

※認定資格更新セミナー

ねらい：在宅療養者のアセスメントに臨床推論を用いて、状態悪化防止、異常の早期発見などにつなげるための知識を学ぶ

内容：在宅療養者に起こりやすい症状と臨床推論／事例をもとに臨床推論の実際を学ぶ

講師：徳田安春（群島沖縄臨床研修センター長、総合診療医）／島田珠美（川崎大師訪問看護ステーション統括所長、診療看護師）

対象：認定看護師（全21分野）および訪問看護に従事する看護職員など

②非がん療養者のエンドオブライフケア

ねらい：非がん療養者のエンドオブライフケアの特徴を理解する／エンドオブライフケアにおける倫理的問題について理解し、看護倫理に基づくケアの実践について学ぶ

内容：非がん療養者のエンドオブライフケア総論／非がん疾患の予後予測と意思決定支援／コミュニケーションと意思決定における看護師の役割

講師：平原佐斗司（東京ふれあい医療生活協同組合オレンジほっとクリニック院長）／千葉恵子（亀

田総合病院緩和ケア専従、緩和ケア認定看護師)

対象：訪問看護に従事する看護職員など

③看護職起業家交流セミナー

ねらい：2018年度報酬改定後の訪問看護ステーション経営の展開・安定経営をめざすための方策を学ぶ

内容：訪問看護関連の最新情報／小規模・大規模訪問看護ステーションの経営戦略／意見交換
講師：交渉中

対象：訪問看護ステーションの経営関係者・訪問看護ステーションの起業をめざす人など

受講料：会員6000円、非会員1万円

申込：8月1日(水)10時開始

【以下、共通】

申込方法：ホームページの申込フォームより

※インターネット環境のない人のみFAX可。研修担当に電話すること

☎訪問看護財団研修担当

☎03-5778-7005

✉info-kensyu@jvnf.or.jp

http://www.jvnf.or.jp/kyouiku/kensyu.html